

■ 草津小 E S D ～地域と学び合い、発信しよう～（草津小学校）

1 【活動の趣旨】

校章のモチーフである「なでしこ」の花を育てる活動、学校田での米づくり、野菜や花を育てる活動などを地域の方と共に行う中で、知恵を学び、優しさに触れ、地域や学校への愛着心を育む。スクール E S D として取り組む生活科、総合的な学習の時間で地域の方との学びの場を設け、考えたことを学年に応じたやり方で地域に発信する。

2 【特徴的な活動内容】

○「なでしこガーデン」

県立湖南農業高校の協力を得て「なでしこ」の花を育てている。今年度は手作り看板を高校生から贈呈いただき、なでしこガーデンがより華やかになった。

○環境ボランティアとの「花いっぱい活動」

【4年「防災フェスタ2024」】

校庭に季節の花を植え付け、育て、花いっぱいの学校になるよう活動している。植え付けではボランティアと3年生児童が共に作業し、交流を深めた。

○民生児童委員との「やきいもパーティー」

特別支援学級は畑で育てたさつまいもの収穫を祝い、民生児童委員の方に安全見守りをしていただきながら、かまどベンチでやきいもを作り味わった。

○「なでしこ E S D カリキュラム」（生活科・総合学習）

各学年の生活科、総合的な学習の時間に地域と連携した活動を設け、「ふるさと」「福祉」「防災」「環境」「人権と平和」などのテーマ別に探究的な学習を進め、友だちや保護者、地域とつながりを持ち、主体的に学び、発信する活動に取り組んだ。



3 【実施に当たっての工夫】

児童が課題意識を持ち続け、解決に向けて行動・発信していけるように、地域の方に携わっていただきながら仕掛けや教材について考えた。

5年生の米づくりの収穫祭では、地域の方へ感謝の気持ちを伝えと共、体験を通して学んだことや今後大切にしたいことを劇等を通して発信した。



【5年「お米感謝祭」】

4 【事業の成果】

活動を継続して行っていることがボランティアの「草津小学校の教育活動を支えている」という誇りや生き甲斐につながっている。関わりが深まることで児童は「地域の方に見守られ、共に学んでいる」と感じ、豊かな心の成長や学びの深まりにつながっている。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

年4回の学校運営協議会で協議しながら実施している。ボランティアの方々の高齢化もあり、これまでの活動に保護者や地域の方々の参加協力を得られるよう、今後も学校から発信していきたい。スクール E S D についても今年度の取り組みの成果と課題をふまえ、充実・発展させていきたい。